

セルフモニタリング報告書(令和2年度分)

令和3年4月30日

施設名 白鳥王子アイスアリーナ
 指定管理者名 (公財)苦小牧市スポーツ協会
 所管課名 まちづくり推進室スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	コロナ禍の中でも実施できる事業を実施	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	コロナ禍の中でも最低限利便性向上に向け努力	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	コロナ禍の中でも実施できる事業を実施	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	利用団体、企業と花壇整備等	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	施設全般的には高い利用者満足	A・Ⓑ・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	常時提案箱を設置受付で把握	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	早急に回答及び苦情処理を実施	Ⓐ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	灯油・光熱水費は必要最低限の使用	A・Ⓑ・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	必要最低限の委託	A・Ⓑ・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	夜間利用枠の割引	A・Ⓑ・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	概ね適正	A・Ⓑ・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	消防・防災訓練等	A・Ⓑ・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか(使用料の減免、還付含む)。	条例に基づき処理	Ⓐ・B・C・D・E

利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	苫小牧市個人情報保護条例に基づき管理	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	不適切な会計処理はない	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に実施	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に実施	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	定期的な巡回・監視 注意放送	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法に基づいた管理	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者を最優先	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

館の利用状況につきましては、コロナの影響により昨年より 24,722 人減少した。主な原因はトレーニング室で 7,138 人減少し、専用貸切で 14,924 人減少、他会議室等で 2,660 人減少しました。

利用料金収入は、トレーニング室で 461,500 円減収、専用貸切で 951,170 円増加しましたがこれは昨年度は3月分がコロナの関係で収入がなかったことが影響しています。

支出経費は、昨年との比較すると燃料費で 355,518 円減少、光熱水費では電気・水道合わせ 5,433,857 円減少しました。修繕費は 5,360,366 円増加いたしました。

施設の利用促進に向けた取り組みとしては、Facebook を活用した自主事業の告知や結果報告、写真とともに掲載を行った。

地域、関係機関、ボランティア等との協働については、民間企業、施設利用団体、施設管理者が共同で行う花壇整備事業が8年目を経過しました。

築20年以上が経過する白鳥王子アイスアリーナの安全性・効率性を重視しコスト管理に心がけ管理しました。